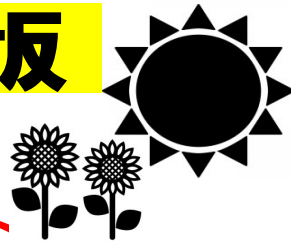


暮らしの瓦版

2022年夏



梅雨が終了、夏本番!長い夏がスタート

今年は異常な暑さが日本列島を困らせています。27日には九州南部・東海・関東甲信地方、28日には九州北部・中国・四国・近畿・北陸地方、29日には東南北部地方で梅雨明けとなりました。九州北部・中国・四国・近畿・関東甲信・北陸・東南北部地方では、「過去最も早い梅雨明け」でした。今でも、梅雨はいつだったのか?と思うほど暑く、太陽に恵まれた6月でした。

そこで夏本番で心配な事が2022年はかさなります。いまだ落ち着くことなく、コロナ患者も増加しています。気温が高いことによる熱中症、電力不足、野菜の高騰、他物価の高騰なども心配です。

貯水率30%台に低下の所も!

四国の水がめはずでに貯水率が下がっているのです。梅雨入りしてから梅雨前線が日本付近に停滞しにくかったため、西日本を中心に梅雨の期間の降水量は平年に比べて極端に少なくなりました。四国の早明浦ダムでは貯水率が平年に比べて半分以下と下回っていて水不足が心配されています。

40℃超えの「危険な暑さ」

近年、毎年のように国内のどこかの地点で40℃を超える気温が観測されていますが、6月中に40℃に達したことはこれまでにありませんでした。この暑さの原因は、太平洋高気圧が平年に比べ勢力を強めた事や上空に真夏並みの空気が流れ込んだからです。その後も状態は続き、各地で危険な暑さになっています。

電力不足

9月末まで全国の家庭や企業を対象に政府は7年ぶりに節電に協力するよう呼びかけました。何故そうなったの?と思う方もいるかと思えます。主な原因は政府が進めてきた再生エネルギーの拡大が思うように進まなかった事や、日本の大型火力発電所の老朽化。戦争からの燃料供給の不安もあるのです。


野菜の危機

梅雨明けが早いことにより、猛暑となる期間が長くなることが想定されます。降水量の減少とその後の猛暑の影響として野菜の生育不足があり、次の野菜の高騰が予想されます。夏野菜のトマト、キュウリ、ナス、レタス、キャベツ、小松菜、ホウレンソウ、大根などです。体を冷やしてくれる夏野菜が心配です。

2022年夏は昨年とは違う、イベントが始まる!

暑い夏でも2022年の夏は、久しぶりに6割以上の人が2022年の夏は旅行に行きたい。予算「30,000円以上50,000円未満」が多数派と皆さんが考えているようです。行先の条件は「密を避けられる」が1位と、感染症対策に慎重な傾向があります。景気回復につながる事を期待しましょう!

開催予定の主なイベント(延期・変更も含む)

- | | |
|---|--|
|  <p>お祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上尾夏まつり 7月16~17日 ●小川町七夕まつり 7月23日、24日 ●熊谷うちわ祭 7月20~22日 ●戸田ふるさと祭り 8月20日、21日 ●狭山市入間川七夕まつり 8月6日、7日 ●川口市たたら祭り 8月27日、28日 |  <p>花火</p> <ul style="list-style-type: none"> ●朝霞市民まつり「彩夏祭」8月5~7日 ●熊谷花火大会 8月13日 ●小江戸川越花火大会 8月20日 ●川口市たたら祭り花火大会 8月27日、28日 ●こうのす花火大会 10月1日 <p>※最新情報を必ず事前にご確認ください。</p> |
|---|--|

過去にも6月に梅雨明けは実はあった!どんな年だった?早い梅雨明けは?

今から4年前となる2018年も6月中に梅雨明けが発表され、その後に猛暑の影響がありました。梅雨明けから約1週間後の2018年7月6日に西日本が豪雨に見舞われました。日本列島に記録的な猛暑。埼玉県熊谷市では当時の観測史上最高気温41.1度を観測。利根川水系のダムでは貯水量が減少し、渡良瀬川では約1.5ヶ月、鬼怒川では約1ヶ月に渡って取水制限が行われたりしました。やはり、水に悩まされる事が多い気がします。日ごろからの備えを、家族やご近所の仲間と一度考えてみるのも大切ですね。



熱中症を防ぐ

熱中症は、特に梅雨明けの暑くなり始めが危険です。猛暑が予想されるこの夏も注意したいのが熱中症です。夏を前にした今だからこそ、改めてこの熱中症の正しい知識を身に付けましょう。効果的な体の冷やし方や、自宅でする「経口補水液」の作り方を知っていますか?

暑い日は体温が上がります、そのため「体を冷やすこと」がとても大切です。

●首の両側、●両わきの下、●両脚のつけ根などを冷やします。これらの部分は、太い血管が皮膚の表面に近い所を流れている為、効果的に体を冷やす事ができます。※熱中症の疑いがある場合は、速やかに救急車を呼ぶか、医療機関を受診するようにしてください。

こまめに水分補給

食事以外に1日1.2リットルの水分を取ろう!喉が潤いていなくてもコップ1杯の水を定期的に飲みましょう。

最近よく目にする経口補水液!熱中症対策として効果的です、家庭でも作ることができます。

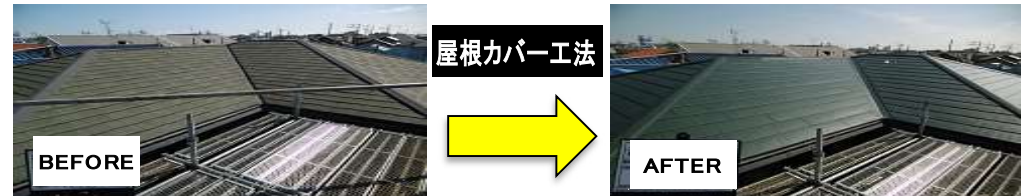
●材料→水2リットルのペットボトルに砂糖 大さじ9、塩 小さじ1、(お好みでレモン果汁)

これだけは知っておきたい、熱中症を防ぐポイント

熱中症で救急搬送されるのは高齢者が最も多い。暑さを感じにくく我慢しがちなため。疑いのあるときは救急車を呼ぶ。応急措置として左右の首筋、わきの下、両脚のつけ根を冷やす。のどが潤いていなくても、コップ1杯の水を定期的に飲むように心がける。厚生労働省によると熱中症の死者数は、1581人(2018年)、1224人(2019年)、1528人(2020年)に上ります。猛暑は災害だと思って備える必要があります。2020年の夏、東京23区内で、屋内で熱中症により亡くなったのは187人。また、そう内ほとんどの家庭がエアコンが設置されていたのですが未使用でした。この数年、年間1200人を超える方が亡くなっており、「猛暑は災害」だと思って備える必要があります。

北本建設からのお知らせ

建物は定期的な屋根や外壁のメンテナンスで50年、100年と長持ちさせる事が出来るのです!



気になるシミなど部屋にありませんか?雨漏れは家を傷ませる原因なのです!

7月一粒万倍日 3・4・7・16・19・28・31日
(いちりゅうまんばいび)一粒の種が万倍にふえる吉日です。そのため諸事成功を願って事始めに用いられます。

北本建設株式会社 ☎ 048-591-1234

50年の信頼と実績の北本建設にお任せください!

担当者 薩美・太田まで